



授業参観 ありがとうございます

先日は、授業参観にお越しいただきありがとうございました。進級し、新しい環境で学ぶ子ども達の様子はいかがだったでしょうか。

今年度も、子ども達が安心して学べる環境を整えながら、「みんなが幸せな学校」「『学び』を楽しむ子ども」を目指して、学習活動を進めていきます。以下に、参観日の校長講話を掲載いたします。是非お読みください。



〈4月30日 校長講話〉

本日はお忙しいなか、授業参観においでいただきまして、たいへんありがとうございます。希望も新たに、明るい表情で友だちとかかわったり、一生懸命に学習に取り組んだりする姿をご覧いただけたでしょうか。

1 ウェルビーイングな学校を

今年度、本校はこれまでのグランドデザインを大きく変更いたしました。開校以来の積み重ねは尊重しながら、さらに時代に即した学校のあり方を目指したいとの思いからです。

まず、様々なご家庭で育つ子どもたちが集まる場として、多様性が尊重され、子どもたち一人一人の「学び」や「育ち」が大切にされなければならないことを大前提として、「みんなが幸せ(ウェルビーイング)な学校」をめざす学校像として掲げました。

「ウェルビーイング」とは、心身共に、そして他者との結びつきやかかわりの面でも満たされた状態であることをいいます。子どもたちのウェルビーイングは、子どもたちを取り巻く保護者のみなさま、地域の方々、そして本校教職員それぞれのウェルビーイングが前提であるとの考えで、本校にかかわる全ての人のウェルビーイングの実現を目指します。

とはいえ実際の生活にはさまざまな課題が付きものです。ウェルビーイングを実現していくためには、「目標や願いをもち、実現するために問い続け、挑戦する力」が不可欠です。この力を「エージェンシー」と言いますが、様々なむずかしい問題も、子どもたちや教職員だけでなく、保護者のみなさまや地域の方々にも「主人公である子ども」のために、エージェンシーを発揮し、協力していただくことで解決につなげていくことができると考えています。

みんなのエージェンシーを集めて、本校にかかわる人全てがウェルビーイングな学校にしたいと思っています。どうか保護者のみなさまには、お子さまだけでなく、「全ての子のよりよい育ちを願い、みんなが幸せになるために、学校のパートナーとして、協働して子どもの成長を支えてほしい」と思います。自分の幸せは、周りの幸せがあってこそ、という時代です。お子さまのウェルビーイングは、お子さまの周りの子のウェルビーイングがあってこそです。保護者のみなさまも、教職員も、お子さまのよりよい育ちを願うことに違いはありません。「主人公である子どものため」この一点で、保護者のみなさまには学校のよきパートナーとして、お子さまの育ちをいっしょに支えていただきたいと思います。

2 合い言葉「たい焼き」ができました

お子さまは家で「たい焼き」と口にかけているでしょうか。

学校では「みんなが幸せな学校」のシンボルとして、子どもたちに「たい焼き」を示しています。大人も子どもも、だれもが、こうしたい、こうなりたい、こうありたい、と自分のウェルビー

ングな姿を思い描き、その実現に向けてがんばっています。子どもたちにもそうした願いを大切に、その願いの実現に向けて挑戦してほしいと考えています。そうした挑戦の経験こそが、先行きの見えない、答えのないこれからの時代のなかで、ウェルビーイングを追求していく力になると考えています。ですので、この「〇〇したい」という願いや「できるようになりたい」「分かるようになりたい」の「〇〇たい」を「たい焼き」と呼んで、この「たい焼き」を大切にするようにしています。

ふっくらとしたアツアツの「たい焼き」にするためには、様々な挑戦が必要です。「考えや意見を自分の言葉で表現し、伝え、他者とコミュニケーションする力」や「他者の考えや思いを聞き、受け止め、自分に生かす力」や「勇気を持って挑戦し、あきらめずに続け、成長を実感する力」が必要だと考えています。そこで、これらの力をそれぞれ「いってみよう！きいてみよう！やってみよう！」という合い言葉にして、みんなで「たい焼き」をアツアツふっくらにしていこうと話しています。

この「いってみよう！きいてみよう！やってみよう！」によって、これからの時代を生きる子どもたちに育みたい力とされる「エージェンシー」、「目標や願いをもち、実現するために問い続け挑戦する力」を育んでいきたいと考えています。

ぜひ、ご家庭でも、「いってみよう！きいてみよう！やってみよう！」で、お子さまをほめたり励ましたりしていただければと思います。

3 どの子にもその子らしく学べる場を

現在、本校には様々なお子さんが在籍しています。教室での一斉の授業、指導とは異なる支援を要するお子さんもいます。学校としては、どのような子もその子らしく学べる学校でありたいと考えています。

そのために今年度はより多くの教師の眼で子どもたちの育ちをとらえられるよう、高学年を中心に一部教科担任制を導入しています。また、特別支援学級における学習や活動の充実とも併せ、通常学級における学びづらさをかかえたお子さんへの支援も充実させていきたいと考えています。さらに、学校や自分の教室に足が向きづらいお子さんのための校内教育支援センターの設備及びお子さん・保護者への支援の充実を図っていきます。

今年度は本校に長野県教育委員会より「子どもと親の相談員」を配置していただきました。お子さんの学びや育ちについてのご心配などがありましたら、遠慮なく学校までお寄せください。

4 職員のウェルビーイングも

本校の職員は、真面目で一生懸命です。学校を退勤するのも遅くなりがちです。昨年度、本校職員の時間外勤務時間の一年間の総合計の平均は一人あたり475時間でした。今年度は、1割の削減をめざしています。しっかり休養し、毎朝、明るくさわやかに「おはよう」と言える職員であるよう、そして何より質の高い授業をお子さまに提供できるよう、少しでも早く職員を退勤させたいと思っています。子どもたちとの充実した明日のために、職員の働き方改革にご理解とご協力をお願いいたします。

5 全ては子どものために ～保護者のみなさんと学校が手を携えて～

改めてお願いです。学校は様々なご家庭のお子さまをお預かりしています。様々なご家庭で育っている様々なお子さんが集まる学校は、社会そのものでもあります。社会で様々な考えの違いが対立やトラブルを生み出しているように、学校でも様々なトラブルは当然、起きます。しかし、学校はそうした考えの違いや意見の対立、トラブルをいかに乗り越え、折り合いをつけ、合意をつくり出していくかを学ぶ場です。子どもたちにそうした力、エージェンシーが育まれていくよう、保護者のみなさまには温かく見守り、支えていただきたいと思います。心配なことがございましたら、ぜひ学級担任にご相談ください。学年主任や教頭、もちろん校長でも結構です。「主人公である子どもたち」のよりよい育ちを学校と共に支える、共に考える、という立場で、保護者のみなさまと学校が共に手を携えてまいりましょう。お子さま、そしてお子さまの周りにいる全ての子どもによりよい育ちのために、何とぞお願いいたします。

今年度の本校のグランドデザインをいっしょに配信しますので、ご覧ください。